

案件概要書

2018 年 4 月 24 日

1. 基本情報

- (1) 国名：バングラデシュ人民共和国
- (2) 案件名：
技術協力「デジタルバングラデシュ構築のための地図作成能力高度化プロジェクト」に係る国別（カウンターパート）研修「地理空間情報の政策活用」コース
(Knowledge Co-Creation Program 'Geospatial Information administration for political activities' under the Project for Strengthen the Capacity on Advanced Mapping of SOB for Building Digital Bangladesh')
- (3) 参加者：バングラデシュ国防省傘下のバングラデシュ測量局（Survey of Bangladesh, SOB）職員を含む計 9 名。うち 1 名が軍籍保有。
- (4) 実施期間：2017 年 9 月 30 日～2017 年 10 月 22 日
- (5) 計画の要約：
地理空間情報の共用・連携の事例と技術を学ぶことにより，全国地理空間情報データ及び電子基準点網（GNSS/CORS）を，さまざまな行政分野・産業・研究に活用することを図り，もって同国の地理空間情報の活用促進に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義
バングラデシュ政府は 2021 年までの中所得国入りを目指に掲げ，インフラ強化，ガバナンス強化，貧困削減等の課題に取り組んでいる。
バングラデシュは，同国の独立以降，一貫して我が国と友好関係を維持し，国際場裡においても協調している他，南アジア地域の安定と経済発展に重要な役割を果たしているため，同国との関係強化は，南アジア地域との連携強化の観点からも重要。また，近年，同国の経済発展に伴い，日本企業の進出は増加傾向にあり，我が国との経済関係は年々深化している。「インフラシステム輸出戦略」においても，大きなインフラ需要が期待される国の一つとして位置付けられている。
このような状況において，同国にとり最大の二国間援助供与国である我が国が先方政府の開発政策に沿って継続的に必要な支援を行うことは，同国との関係を更に緊密化させる上で極めて重要である。本研修を通じて，バングラデシュにおける測量や地図作成の高精度化・効率化に資する関係機関の能力を強化することにより，同国における膨大なインフラ需要に対応する基盤の整備に貢献するとともに，投資環境改善に繋がり，我が国との経済関係の深化に寄与することからも外交的意義が大きい。
- (2) 当該国における都市開発・地域開発の現状・課題及び本計画の位置付け
バングラデシュでは，国土の開発・保全，災害管理等に必要な地形図の整備が課題となっており，我が国は，1990 年代から，バングラデシュにおいて地理空間情報関連行政を担う唯一の機関である SOB に対し，測地基準点網の整備，印刷装置の導入，

地図情報の整備など、地理空間情報整備にかかる協力を継続して実施してきた。2007年からは、SOBが全国の1:25,000及び主要都市の1:5,000地形図を整備することを目的に「Improvement of Digital Mapping System of Survey of Bangladesh (IDMS)」事業を開始し、JICAはその促進を技術的な観点から支援するため、2009～2013年に技術協力「バングラデシュ・デジタル地形図作成能力向上プロジェクト (Bangladesh Digital Mapping Assistance Project : BDMAP)」を実施した。

こうした協力の成果により、SOB職員による地形図作成能力は飛躍的に向上した。一方で、これまで導入されてきた技術の定着や、正確な地理空間情報の整備・更新、今後の地形図の利活用促進や関連する法制度の整備のためにはSOBの更なる組織強化が必要とされ、2013年からは、新たに技術協力「デジタルバングラデシュ構築のための地図作成能力高度化プロジェクト」が開始された。本研修は、当該技術協力プロジェクトの一環として、プロジェクトのカウンターパート及びその他関連機関の職員の能力向上を目的として実施されたものである。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

測量・地図作成技術に関する最新の知見を習得するとともに、バングラデシュにおける地理空間情報整備の現状と今後について日本の専門家に説明を行い、意見交換を実施する。また、関係機関での研修を通して地理空間情報の行政での活用に関する具体的な事例を学び、デジタルバングラデシュ政策への反映に向けた展望と課題を理解する。

② 期待される開発効果

バングラデシュで実施中の技術協力プロジェクト「デジタルバングラデシュ構築のための地図作成能力高度化プロジェクト」により整備を進めている全国地理空間情報データ及び電子基準点網 (GNSS/CORS) が、さまざまな行政分野・産業・研究で活用されることが期待される。

③ 計画実施機関／実施体制

下記4機関の職員 (計9名) に対し、本邦において研修を行う。

バングラデシュ測量局 6名 (うち1名が軍籍保有)

土地省 地籍・測量局 1名

バングラデシュコンピューター評議会 1名

地方政府・村落開発・協同組合省 地方行政技術局 GISユニット 1名

(2) その他特記事項

- 特になし。

以 上